

Ⅱ 各カテゴリーの分析

【被害類型別】

1. 生命被害

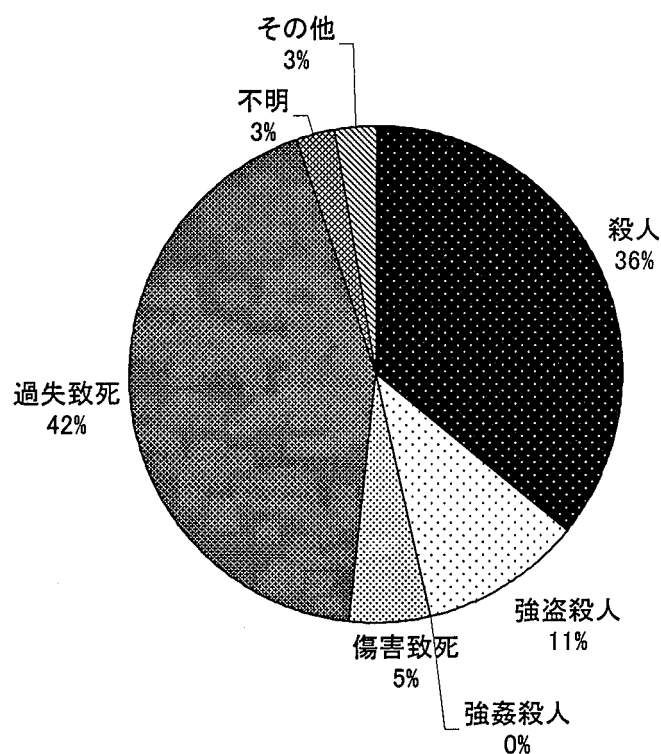
生命被害は表10に示すように、合計112件で、件数の多いものをあげると、過失致死48件（42%）、殺人40件（36%）、強盗殺人12件（11%）、傷害致死6件（5%）、であった（図6参照）。

殺人被害の相談件数40件のうち、調査期間中に新規として受けた件数は6件であり、残り34件は継続件数である。殺人被害では、継続的な支援をする例が多いことが窺われる。

表10. 生命被害

殺人	40件
強盗殺人	12件
強姦殺人	0件
傷害致死	6件
過失致死	48件
不明	3件
その他	3件
合計	112件

図6. 生命被害



個々の事例について、調査期間中に何回相談したかを見ると、5回が1例、4回が1例であり、ほとんどの事例が1回および2回であった。

殺人被害の全40件の被害態様を見ると、職場・近隣・友人間の問題によるものが11件、家庭内の問題6件、DV被害4件、となっている。最も多い過失致死事件48件の被

害態様を見ると、交通業過46件となっている。そのうち新規受理件数は21件（内容的には、心理的相談11件、法律相談2件、その他の相談3件、問い合わせ4件、その他1件）で、継続受理件数は27件（心理的相談22件、法律的相談7件、その他の相談3件、問い合わせ2件、その他1件）となっている。新規相談件数には問い合わせ的な面が若干多く、継続件数では心理的な相談が多くなっている。

傷害致死被害は全て新規件数で、6件となっており、法律相談が比較的多い（法律相談4件、心理的相談1件、その他の相談1件、問い合わせ2件）。その被害態様は、交通業過3件、その他3件となっている。

強盗殺人被害では、12件のうち、11件が継続件数であり、2回相談をしているものが2事例、7回相談しているものが1事例（相談の主旨は心理的相談および法律的な相談。相談者は妻）である。相談者はいずれも女性である。

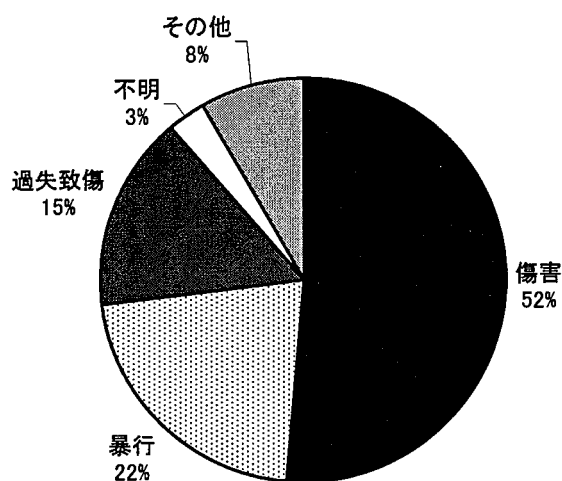
2. 身体被害

表11に示すように、傷害166件、暴行70件、過失致傷50件、不明10件、その他27件で合計323件であった（図7参照）。

表11. 身体被害の被害類型

傷害	166件
暴行	70件
過失致傷	50件
不明	10件
その他	27件
合計	323件

図7. 身体被害の被害類型



また、身体被害の323件について、その被害態様を見ると、表12に示す通りである。

表12. 身体被害における被害態様

身体被害	被害態様														総計	
	ストーカー被害	DV被害	セクシャルハラスメント	交通業過	危険運転	虐待	いじめ	医療過誤	家庭内の問題	職場・近隣・友人間	消費者被害	被害念慮・妄想	テロ被害	災害被害		その他
傷害	5	52	1	4	1	6	1	0	15	14	1	6	2	1	23	132
暴行	1	30	1	0	0	9	5	0	14	7	0	3	0	0	15	85
過失致傷	0	0	0	48	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	51
不明	0	3	0	2	0	3	1	1	1	2	0	0	0	0	2	15
その他	4	2	0	4	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	15
合計	10	87	2	58	1	18	7	3	31	26	1	9	2	1	42	298

傷害被害166件のうち、新規件数は62件、継続件数は104件である。継続件数104件のうち、2ヶ月間で4回から6回相談しているケースが3件あった。特に多いものとして、24回（相談者は被害者本人。傷害被害の他、名誉毀損・脅迫・強要。被害態様はDV被害）と、22回（相談者の被害者との関係は子ども）というのが各1件認められ、これらのケースの相談主旨はともに心理的相談とされている。

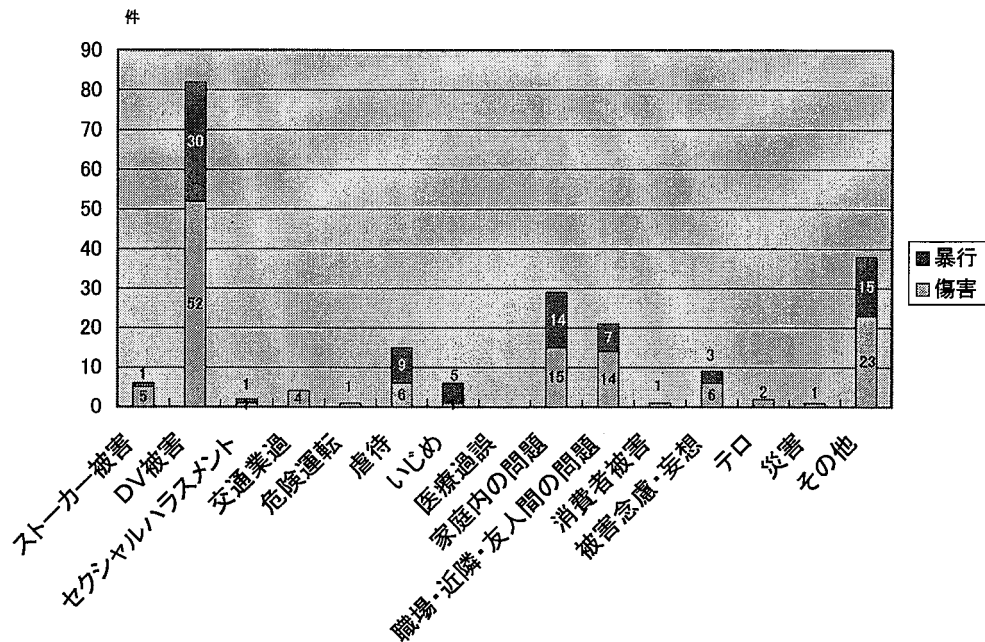
暴行被害において新規件数は48件、継続は22件で、新規、継続のいずれにも、被害項目に精神的被害を訴えている件数が9件ずつあった。傷害被害と暴行被害の被害態様には類似点が多い。

DV被害によるものが、傷害被害の中に52件、暴行被害の中に30件認められた。傷害被害と暴行被害を合わせた合計236件のうち、34.7%がDVによる被害で、「家庭内の問題」がこれに次ぐ（傷害被害15件、暴行被害14件）。DVと家庭内の問題の件数を合計すると、傷害・暴行被害は約半数（47%）を占める（図8参照）。

過失致傷50件（新規43件、継続7件）の殆どは交通業過（48件、96%）によ

る。相談の主旨は継続7件のうち6件が心理的な相談に対して、新規相談では、心理的な相談9件、法律的相談23件、その他の相談14件、問い合わせ9件であった。

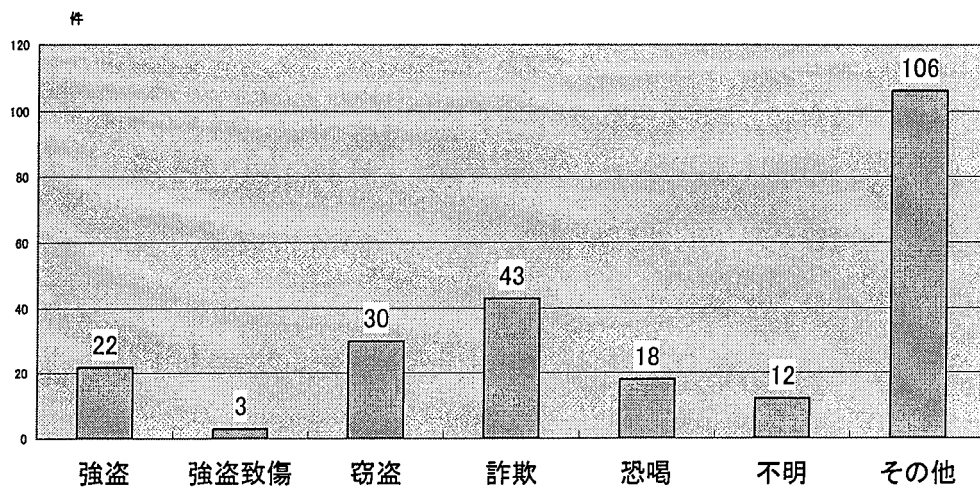
図8.暴行被害と傷害被害の被害態様



3. 財産被害

詐欺43件、窃盗30件、強盗22件、恐喝18件、不明12件、強盗致傷3件、その他106件となった（図9参照）。

図9. 財産被害



強盗被害は22件（新規11件、継続11件）で、相談主旨は新規に関しては心理